



大いちょう

R5年11月30日
岐阜市立加納幼稚園
園長 広瀬 みゆき

11月は 様々な出会い、人とのかけわりがありました！



テクノランド 楽しかったね！

7日（火）のテクノランドでは、岐南工業高校の学生さんと、加納幼稚園の子どもたちがたくさん交流できた1日となりました。



様々な乗り物に乗ったり、ツリーを作ったりと、様々な体験をさせていただき、乗り物や機械に興味をもったり、身近に感じることができました。

乗り物が好きなお子さんが多いので、どの子もみんな楽しそうでした。年長児は、「これはどうやって動くの?」「運転はそうやっているの?」など、その場で高校生に聞く姿も見られました。“どうなっているのかな?”と疑問を持つ姿が、さすが年長さんですね。

体験もとても有意義でしたが、給食の時間もとても素敵な時間でした。「これ、コロッケ?」「お弁当、おいしそうやね。」「どこから来たの?」などと、物怖じせず、お兄さんやお姉さんに話しかける子どもたち。そんな子どもたちに、「うーん、どう答えたらわかるかな・・・。」と一生懸命考えて「あっちの方から来たよ。」と答えたり、頑張っている子に「全部食べれてすごいね!」などとほめたりしてくれました。そんな自然なやりとりで、また距離がぐっと近づき、午後からの時間は、「体験したいこと」を目指すだけでなく、仲良くなったお兄さん、お姉さんのコーナーに「かかわりたい人」を求めて移動する子どもたちもいました。

終わりの会では、みんなでお礼とともに歌を聞いてもらいました。(といっても、3学年が一緒に歌える「園歌」ですが・・・。)そして、お別れの時、高校生の皆さんがアーチを作ってくれて、そこを歩いていきました。本当に、素敵な交流の時間となりました。

会長さんから高校生の皆さんが話していたことを教えていただきました。ご紹介します。

「最初は園児の相手と聞いて、自分の姪っ子の面倒を見ているときのイメージで、それが大人数で大変やろうなと思っていたけど、イメージと違って最初の挨拶から鳥肌立って、体験してる時の楽しそうな姿、ごはん一緒に食べて、名前を覚えてくれて、最後の歌のお礼を聞いたときは、なんかぐっときた・・・。」「毎日これをしている幼稚園の先生たちの体力はすごいですよね。」などと話していたようです。

高校生の皆さんにとっても、良い時間であったのだと思います。

先日、教育長さんが「日本義務教育学会のシンポジウム」で、この「テクノランド」のことをご紹介してくださいました。また、PTAの会議でも、お話して下さったそうです。

今後もご縁があるとよいと思っています。

岐阜薬科大学との交流(年長児)

29日は岐阜薬科大学の腰塚教授と、演劇部の皆さんにおいでいただき、ワクチン接種に関する劇をみせていただきました。(内容については、当日のホームページをご覧ください。)

ワクチン接種劇を観劇した年長児。最後に、演劇部の皆さんに前に並んでいただいたときに、私が「劇に出ていなかったお兄さん、お姉さんがいるけどわかるかな?」と聞くと、ちゃんとわかっていました。「このお兄さんたちは劇で何をやっていたかわかるかな?」と聞くと、ある子が「音楽!」と答えてくれました。お兄さんから「正解!」と言ってもらって嬉しそうでした。

自分たちが劇ごっこを楽しんでいくうえで、今回の観劇が経験として繋がっていくのではないかと思います。劇の後は、各クラスで交流をしました。大学生の皆さんとのかかわりも、素敵な交流になりました。

腰塚教授のお話は、予防接種について、とてもわかりやすく解説していただき、とても参考になるお話でした。参加された保護者の方からも、いくつもお質問をいただき、私たちも学びを深めることができました。正しい情報を知り、きちんと判断していけるとよいと思いました。心配なことは、かかりつけ医に相談できるといいなと思いました。

親子ふれあいフェスティバル③にご参加ください

ありがとうございました！

26日（日）は、親子ふれあいフェスティバル・講演会にご参加くださり、ありがとうございました。

小学生の方のご参加をご遠慮いただいたり、製作の時間はご両親のどちらかだけご参加いただいたりと、様々なことにご協力いただき、ありがとうございました。皆様のご協力のおかげで、保育室も混み合うことなく、また、親子でじっくりと製作や遊びを楽しむことができました。

本当にありがとうございました。

また、講演会も、多くの保護者の方にご参加くださり、質問もしていただきました。今回は、子育ての話が聞きたいというご要望がありましたので、「東海学院大学 教授 杉山 章 先生」にお願いをいたしました。子どもの発達を考える子育てについて、具体的な方法や子どもとの向き合い方などをお話いただくことができました。感想もたくさん書いてくださり、ありがとうございました。

皆様の感想は、杉山先生にお伝えいたします。



年長さんのポップコーン屋さん

30日（木）に、年長さんがポップコーンを作って、年少・年中さんに振舞ってくれました。このポップコーンは、年長さんが幼稚園の畑で育てて、収穫し、干して、実を取って準備をしてくれたコーンで作りました。

前日に、年長さんがチケットを持って、各教室にお知らせに行きました。すると、ひまわり組では、「ポップコーンがもらえるから、お礼をしなくちゃ！」と提案をする子がいました。それを聞いた他の子が「いいねー！」と、みんなで塗り絵や折り紙をし始めました。自分たちで“お礼をしたい”と考え、行動にうつす子どもたちに感心しました。日頃から、年長さんに優しくしてもらっているからこそその姿でしょうね。

でも、ここからが年少さんのかわいいところです。作ったら、自分の分は持ち帰りたくなりました。お気に入りのものは自分のものにして、それ以外のものを年長さんへのお礼のプレゼントにする年少さんでした。さくら組さんはとても嬉しそうに受け取ってくれました。

当日は、年長さんたちはとても張り切っていました。ポップコーンは、年少さん、年中さんのもとへ配達しました。小さい子たちに視線を合わせて、「おいしい？」と尋ねる優しい姿に心が温くなりました。

年長さんの保護者の皆様、割烹着等のご協力ありがとうございました。



他にも加納中学校の生徒さんやドリームシアターの職員の方など、様々な方とのかかわりがありました。人とのつながりの中で、豊かな体験をさせていただけることに感謝しています。



保育を語る会を行いました。

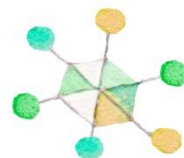
先日、「岐阜新聞」にも掲載されましたが、「保育を語る会」を行いました。県内の幼稚園や保育園、こども園等の先生方においでいただき、一緒に保育について考える機会となりました。講師には「お茶の水女子大学 特任教授 宮里 暁美先生」をお招きし、ご講演いただきました。

私たちは、これからも子どもたちを中心に置いた教育の在り方を、探究して行きたいと思えます。今後も、研究保育の開催については、降園時間厳守等、いろいろご協力お願いいたします。

< 12月の保育のねらい >

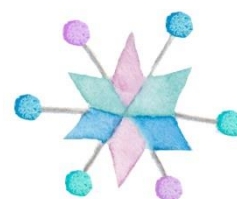
【3歳児】

- 好きな遊びを思いきり楽しむ。
- 友達のしていることに関心をもってかかわる。



【4歳児】

- 自分の好きな遊びを繰り返し楽しむ。
- 友達に自分の思いを出したり、相手の思いに気づいたりする。



【5歳児】

- 自分の思いに沿って丁寧に取り組んだり、工夫して取り組んだりする。
- 友達と思いを出し合い、自分たちで遊びを進める楽しさを味わう。

いよいよ2学期最後の月となりました。

12月も、観劇やたのしみ会など、楽しい行事もたくさんあります。幼稚園でも、クリスマスを楽しみにしながら、ワクワクする日々を過ごしたいと思います。

